

●わたなべ・じゅんpei  
1988年生まれ。潟上市(旧昭和町)出身。高校を卒業後上京し、大学卒業と同時にファッション誌のオーディションに合格したのを機にモデルとして活動を開始。2015年、第3回ミスター・ジャパン日本大会でグランプリ受賞。日之出出版「Fine」、光文社「JJ」、小学館「Oggi」などの雑誌モデルのほか、「洋服の青山」「ブーマジャパン」「日本セレモニー」のスチール広告出演などを通し、広く活動を行う。今後は役者としても活躍できるよう、日々挑戦を続けています。

「美の国、秋田」とうたわれ、全国的にも秋田美人という言葉が浸透している秋田県は自分の生まれ育つた大事な故郷です。高校野球をやっていた自分にとって毎日食べるお米、秋田の食材を使って作る母の手料理がパワーの源であり、欠かせないものでした。高校を卒業して上京するまでの18年間を秋田のお米を食べ、人情溢れる温かい人たちに囲まれ、四季折々の自然溢れる環境で過ごさせていただきました。この特別な18年間が今の自分の土台であり、原点

大学卒業後運よくファッション誌のオーディションに合格したのがきっかけでモデルとして活動させてもらっていましたが、自分自身さらに飛躍したいという気持ちから、2015年に開催された第3回ミスター・ジャパン日本大会(ミス・ユニバース・ジャパンと同時開催される男性版コンテスト)へ挑戦しました。秋田代表としてファイナリストに選ばれたことで秋田への想いや食についての関心がより一層高まりました。日本大会までの3ヶ月は勝手にではあります

が、「秋田を背負っている」とい

う責任と覚悟で駆け抜けました。コンテストにはダンス審査や水着審査もあり、実家から送られてくる秋田のお米を毎日の原動力に体力づくり、トレーニングに励みました。「秋田を背負っている」という気持ちから「秋田を背負っているからには勝たないといけない」という気持ちが日々強くなり、自分に負けそうなときも秋田のお米のように粘り強くなれたこと、そして秋田の方からのたくさんのお応援があつたからこそグランプリを受賞することができたと思います。

## 「秋田」への想い 表現者として恩返し



モデル

# 渡部 純平

う責任と覚悟で駆け抜けました。コンテストにはダンス審査や水着審査もあり、実家から送られてくる秋田のお米を毎日の原動力に体力づくり、トレーニングに励みました。「秋田を背負っている」という気持ちから「秋田を背負っているからには勝たないといけない」という気持ちが日々強くなり、自分に負けそうなときも秋田のお米のように粘り強くなれたこと、そして秋田の方からのたくさんのお応援があつたからこそグランプリを受賞することができたと思います。

自分が今後は「表現者」としての応援があつたからこそグランプリを受賞することができたと思います。ミスター・ジャパンになつてからは、自分が「美の国、秋田」のさらなる発展になることを願っています。

自分が今後は「表現者」としてもモデルだけではなく、役者としても活躍したいと日々挑戦させてもらっています。秋田で生まれ、秋田で育った自分は「秋田を背負っている」という言葉に恥じないよう、秋田と全国、世界をつなぐ懸け橋のような存在になれるように高みを目指して自分の夢に向かって歩んでいきます。

現状に満足することなく「秋田出身の渡部純平」として自信と誇りを胸に。自分のことを知らない方もいらっしゃるとは思いますがこれを機に応援していただけたらうれしいです。まだまだの自分ですがいつまでも応援していただけるように謙虚に頑張つていきます。今回このような素晴らしい機会を与えてくださったJAグループ秋田の皆さま、本当にありがとうございます。そして最後まで読んでいただきありがとうございました。魅力溢れること、誇れることが多い秋田を全国へ、世界へ一緒に盛り上げていきましょう!